

名取市市民活動 支援センターだより

2014年
3月号
Vol.2

名取市内で活動中のNPO紹介

名取市手をつなぐ育成会

名取市手をつなぐ育成会とは？

名取市手をつなぐ育成会（以下、育成会）は、昭和30年に「手をつなぐ親の会」として結成し、平成9年に現在の団体名に改称しました。育成会は、知的、身体的にハンディを持つ人たちとその家族の会で、“誰もが地域の中で普通に、そして可能な限り自らの力を生かして生活ができる環境づくり”を目標に、当事者の社会参加と自立の支援を行っています。現在、会員数は140名ほどで、名取市市民活動支援センター（以下、センター）の貸事務室を利用して活動しています。



毎年賑やかなクリスマス会

具体的な活動としては、福祉施設の関係者を講師に招き、障害を持っている方へのサポート体制や、グループホーム（共同生活型介護）設立などの福祉事業についての理解を深め、活動の参考にする研修会を定期的開催しています。また、毎年100名以上が参加するクリスマス会、新成人のお祝い会などのイベントのほか、障害を持った子ども達が自らの力で生活していくため、会員の中高生を対象にした調理実習などの自立トレーニング教室を行っています。

これらの活動の報告や参加者の意見、感想などを掲載した会報「なかよし」を年に2回、会員以

外の方にも活動を知ってもらうための広報紙「手をつなぐ」を年1回発行し、育成会の存在や活動を発信しながら、新たな会員と一緒に活動に取り組む仲間を集っています。

名取市手をつなぐ育成会の特色

名取市の育成会の特色のひとつは、民生委員会・学校・PTAなどの地域の関係機関の方々と一緒に活動していることです。そのなかでも、名取市PTA連合会と協力することによって、市民にも広く活動を伝えられることや、学校関係者から障害者が暮らしやすい環境づくりのための善意の協賛金の協力が得られることです。

もうひとつの特色は、名取市市民活動支援センターの貸事務室を利用して活動していることです。開館時間中であれば、だれにも気兼ねすることなく、いつでも話し合いができます。また、メンバーそれぞれが都合のつく時間に事務所にきて、保管している資料を見ながら事務作業ができることも、円滑な活動運営につながっています。

「周囲の協力と集える場所があることで活動が継続できています。一人でも多くの仲間を増やし、障害のあるなしに関係なく、誰もがあたりまえに暮らせる地域をつくりたいと思っています。そして、名取市は福祉が進んでいると言ってもらえる街にしたい！」と会長の山川美和子さんは、今後の抱負を話してくれました。

名取市手をつなぐ育成会

〒981-1232 名取市大手町5丁目6-1
名取市市民活動支援センター内

TEL/FAX: 022-383-6154

E-mail: natori-ikuseikai@willcom.com